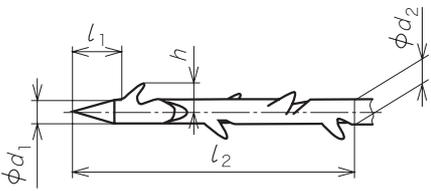
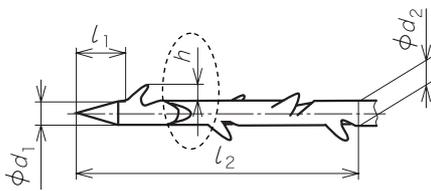
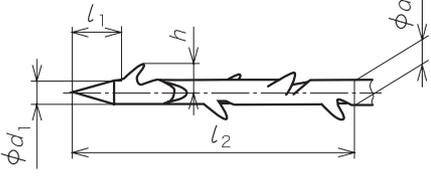
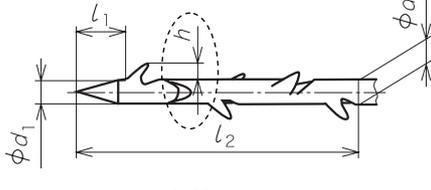


歯科用根管器具一

第 1 部：ファイル，リーマ，歯科用クレンザ，
ラスプ，ペーストキャリア及び歯科用ブローチ

正 誤 票

区分	位置	誤	正
本体	3.2	<p>3.2 呼び及び対応径</p> <p>歯科用根管治療に用いるすべての器具の作業部の呼びを定める (表 1 参照)。</p> <p>呼びは、先端部の径又は作業部の径に 1/100 mm 表示で対応するものである。</p> <p>3 けた (桁) の数字での呼びは、JIS T 5501 に規定している 15 けたの識別番号の部分である。</p>	<p>3.2 呼び及び対応径</p> <p>歯科用根管治療に用いるすべての器具の作業部の呼びを定める (表 1 参照)。ただし、歯科用クレンザを除く。</p> <p>呼びは、先端部の径又は作業部の径に 1/100 mm 表示で対応するものである。</p> <p>3 けた (桁) の数字での呼びは、JIS T 5501 に規定している 15 けたの識別番号の部分である。歯科用クレンザについては、表 5 による。</p>
図 2 下図		 <p>X部拡大図</p>	 <p>X部拡大図</p> <p>(---) 訂正箇所</p>
表 5	呼び ^{a)}	<p>注^{a)} 呼びは、心径 d_1 と突起の高さの約 2 倍との和として計算する。</p>	<p>呼び 削除</p>
図 3 下図		 <p>X部拡大図</p>	 <p>X部拡大図</p> <p>(---) 訂正箇所</p>